

14 decorative ware

# 演出小物 × 用美

おいしい食の時間は、料理や器だけで成り立つわけではなく、おいしい時間や雰囲気を提供するための演出や小物が欠かせないものとして大切にされています。一品の料理、一つのコースに関わらず、料理や盛り付けにこだわる料理人ほど「おいしい」を提供するための工夫を細部にいたるまで凝らします。ここにお届けする小物ひとつひとつは、「おいしい」を演出するために欠かせない存在です。

## 扉の色：深紫(こきむらさき)

黒みがかった深い紫色。紫草の根を何度も繰り返し染めることで生まれました。「衣服令」の定めでは、一位の衣の色であるこの「深紫」は、他のものへの着用が許されない禁色とされていました。

## 扉の柄：菊紋(きくもん)

菊の花を象った模様。皇室を表す紋章で古くから武士の家紋としても多く使われており、花卉の枚数や重ね方で雰囲気異なります。